次期栃木県教育振興基本計画骨子(案)概要

令和7(2025)年5月21日 栃木県教育委員会

会の状況		求められていること		基本理念		基本目標	基本	施策	
将来の予測困難なVUCAの時代 (変動性、不確実性、複雑性、曖昧性)		全ての教育活動の前提として、誰もが安全に安心して学べる学校づくり	-	誰		I 誰もが安全・安心に学べる 学校づくり			(1) 学校における安全管理体制の強化
· 少子高齢化、人口減少				品もが自分の可能性を開花させ			1	学校安全の徹底・充実	(2) 教員の学校安全に関する資質・能力の向上
ブローバル化・地球規模の課題									(3) 安全教育の充実
OXの進展、AI・ロボット・グリーン(脱炭素)							2 .	児童・生徒指導の充実	(1) 発達支持的生徒指導の充実
共生社会・社会的包摂					>				(2) 教育相談・支援体制の充実
青神的豊かさの重視(ウェルビーイング)									(3) 児童生徒指導の諸課題への対応
		誰一人取り残さない教育の充実				II 心豊かにともによりよい社 会をつくる力を育む	3 育	多様なニーズに対応した教育の充実	(1) 特別支援教育の充実
D第3期計画における課題									(2) 不登校児童生徒に対する支援体制整備の推進
ロロナ禍でのグローバルな交流や体験活動の停滞									(3) 日本語指導が必要な外国人児童生徒等への指導・支援の充実
高度専門人材の不足や労働生産性の低迷									(4) 学齢期に十分な教育を受けられなかった方への多様な学びの機会の保障
下登校児童生徒や特別支援教育の対象となる児童生徒、外国人児童生徒等の増加	4	多様性を包摂する共生社会の実現に向けた教育の充実					4	人権尊重の精神を育む教育 の充実	(1) 自他のよさを認識できる共生社会の実現に向けた教育の推進
也域の教育力の低下、家庭を取り巻く環境の変化									(2) 指導者の人権意識の高揚と指導力の向上
枚員の長時間勤務や教師不足									(3) 人権に関する学習や啓発の充実
		持続可能な社会を維持・発展させていく力の育成		٢			- 5	これからの時代に求められ る資質・能力の育成	(1) 生涯にわたる学びや生活の基盤をつくる教育の充実
1回懇談会の意見(本県の課題や取組の方向性等)				も		Ⅲ 未来を切り拓く力を育む			(2) 確かな学びを育む教育の充実
F認知能力の育成				に					(3) 豊かな心を育む教育の充実
架究的学びの更なる充実				未					(4) 健やかな体を育む教育の充実
トャリア教育の更なる充実				来				持続可能な社会の創り手と して学び続ける人材の育成	(1) 質の高い探究的な学びの充実
R童生徒の多様なニーズへの対応の更なる充実	7			を 描 く					(2) より高度な世界・広い世界に触れる機会の充実
下登校への対応									(3) 地域社会と連携したキャリア教育・職業教育の充実
也域の自治体、企業、大学等との連携した取組の充実		地域コミュニティの発展を担う力を育むこと				IV 介む	7 L	学校・家庭・地域が連携 し、ともに学び合う機会の 充実	(1) ふれあい学習の推進と家庭教育への支援
R庭教育の充実に向けた、市町との連携強化			→	٢					(2) コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進
教育のDX化への的確な対応				ち					(3) スポーツや文化に触れる機会の充実
動き方改革の加速				₹			1 8 1	ふるさとを愛し、生涯学び 続ける人材の育成	(1) 生涯にわたり学び続ける機会の充実
				の					(2) ふるさとを学ぶ機会の充実
どもの意見 (学校への期待)	7	教育DXの推進		教育を実現しま		V 未来を見据えた質の高い教 育環境づくり	9	教育 D X の推進	(1) デジタル人材の育成に向けた教育の充実
安全・安心して過ごせる学校づくり									(2) こどもの主体的な学びを支える授業の充実
つかりやすい授業									(3) 校務DXの推進
自然体験や職業体験等の体験活動の充実		魅力ある学校施設等の教育環境の充実			7				(1) 魅力ある県立高校づくり
・温かい人間関係を築く機会の充実							10	学校の魅力化・特色化の推	(2) 教員の資質・能力向上と学校の指導・運営体制充実の一体的推進
							進	進	(3) 公立学校施設の整備
				व					